

## 平成 28 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 29 年 4 月 11 日

学 長 殿

所属部局・職名 環境放射能研究所 所長

申 請 者 名 難 波 謙 二

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・学会等運営・学会参加) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事 業 名	第 3 回福島大学環境放射能研究所成果報告会 (第 3 回 IER 成果報告会)
事業実施期間	平成 29 年 3 月 ～ 平成 29 年 3 月
成 果 の 概 要	<p>日時：平成 29 年 3 月 14 日 (火) 9:30～17:30  会場：コラッセふくしま 多目的ホールおよび企画展示室  来場者：207 名 (地域住民、自治体職員、関係研究機関職員、教職員、学生など)  発表ポスター数：63 題  主催：福島大学、福島大学環境放射能研究所  後援：福島県、筑波大学、広島大学、長崎大学、東京海洋大学、福島県立医科大学、国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所</p> <p>概要：  終始会場は満席で、研究内容への関心の高さがうかがえた。本企画では初の試みである基調講演では、神田玲子氏に「人の被ばく線量と防護の考え方」と題して、放射線防護に関する基本やヒト以外の生物に対するそれについて講演頂いた。  パネルディスカッションでは「福島における動植物の被ばく線量と人の被ばく線量」と題し、現在、福島をフィールドとして研究を行う専門家それぞれの立場から話をし、会場の参加者から質問について応答するなど、双方向のやりとりがなされた。  また、昨年より規模を大幅に拡大したポスター発表会場では、発表者と来場者との間で、研究交流なども活発に行われた。  来場者アンケートからも、本会の開催意義、継続性を望む声が多く寄せられた。</p>